



5-029EAN-00-01
日本ペイント株式会社
製品使用説明書

ハイボン 90 モイスタック A

規格
一般名称
特長

東京都建設局(令和7年版) 令和7年4月 東京都建設局規格 508
超厚膜形エポキシ樹脂塗料
・ハイソリッドタイプで厚膜に塗装できます。
・可とう性を有し、内部応力が小さくすぐれた付着性を示します。
・厚膜塗装によって外部からの腐食性物質の侵入を防ぎます。

塗料性状

		塗料液		硬化剤		
色		グレー、ライトグレー		褐色		
密度(g/cm ³)(23)		1.53 (混合塗料) 1.64 (塗料液) 0.99 (硬化剤)				
光 沢		半つや				
引 火 点		24		24		
発 火 点		430 (参考値)		430 (参考値)		
消防法 表 示	化 学 名	合成樹脂エナメル塗料		合成樹脂クリヤー塗料		
	危険物区分	第4類 第2石油類(非水溶性)		第4類 第2石油類(非水溶性)		
	危険物等級	III (火気厳禁)		III (火気厳禁)		
有 機 溶 剤 区 分		第2種		第2種		
毒 劇 物 表 示		-		-		
有 害 物 表 示		エチルベンゼン エポキシ樹脂		エチルベンゼン 3 - (アミノメチル) ベンジルアミン 変性脂肪族ポリアミン		
国 連 / 指 針 番 号		1263/128		1866/128		
環 境 性 能	ケルシン	配合せず 11.7%	ホルムアルデヒド	配合せず	トルエン	配合せず
	スレン(モノ)	配合せず	パラジクロロベンゼン	配合せず	エチルベンゼン	3.4%
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	配合せず	フタル酸ジ-n-ブチル	配合せず	トリフェニル	配合せず
	フェノール	配合せず	ダイアゾ	配合せず	アセトアルデヒド	配合せず
	T V O C		鉛	18.2%		

・加熱残分(%) : 82 (混合塗料) 85 (塗料液) 51 (硬化剤)

塗装基準
下地調整
混合
荷姿
ポットライフ
希釈剤
塗装方法

・被塗面に付着したダスト・海塩粒子・水分・油そのほかの異質物を清掃し、清浄ケレンしてください。
2液形のため、「塗料液:硬化剤=90:10(重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。
20kgセット(塗料液:硬化剤=18kg:2kg)
6時間(23)
ハイボンエポキシナー[一般用]、ハイボンエポキシナー-W[冬用]

塗装方法	はけ、ローラー塗り	スプレー
希釈率	0~3%	0~5%
使用量	0.50kg/m ² /回	1.10kg/m ² /回
膜厚(ドライ)	150μm	300μm
膜厚(ウェット)	230μm	460μm

・上記各数値は、施工基準書に準拠したのとなっており、被塗物の形状や気象条件等で各数値は増減することがあります。
施工基準書に従って塗装してください。
・上記のポットライフは、はけ・ローラー塗りの場合です。エアレススプレー塗りの場合、ポットライフは2時間(23)です。

乾燥時間

	5	23	30
指触乾燥	16時間	5時間	3時間
半硬化乾燥	24時間	10時間	5時間
塗り重ね乾燥	48時間以上10日以内	24時間以上10日以内	16時間以上7日以内

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。
・塗り重ね乾燥時間は、施工基準書に定められた数値となっております。気象条件や被塗物の状態によって、その値に変動がありますので、塗膜状態を確認してから塗り重ねをするようにしてください。

□ 注 意 事 項

- ・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上、また換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
 - ・塗装後短期のうちに、降雨や結露など、水分の影響を受けると白化することがあり、このような白化面にそのまま塗り重ねると層間付着性が悪く、はく離するおそれがありますので、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで白化した層を除去してください。
 - ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
 - ・作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
 - ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品安全に関する詳細な内容は安全データシート（SDS）をご参照ください。